

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%  
保護者様： 19名回答、回答率 82.6%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・法令上の人員基準は満たしているものの、送迎の時間帯において教室内の職員数が限られてしまうことによって、安全管理の目が行き届きにくいこともあるため、死角を作らないように職員配置を工夫している。
- ・訓練室のスペース確保のために、机を移動したり、活動スペースを分けたりと、必要に応じて対応している。

### ○業務改善

- ・教室の支援対応にあたる時間が多くなっているため、各職員の業務分担を適切に行い、一人一人の業務負担を減らせるようにする。

### ○適切な支援の提供

- ・スタッフ間でPDCAサイクルを行い、全員が共通認識を持って支援を行っている。業務が立て込んでいるスタッフがいる場合は、互いにフォローをしながら支援に入っている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・役職に関わらず、全員が一支援者として情報の共有や保護者との連携を密に行っている。

### ○保護者への説明責任等

- ・感染症拡大防止の観点により、保護者会が未実施である。
- ・一人のスタッフとしての考えではなく、支援に関わるスタッフ全員で対応を考え、迅速に説明を行っている。

### ○非常時等の対応

- ・月一回、避難手順・避難経路等を確認する避難訓練を行っている。
- ・災害時の対応について保護者様とより密な情報共有が必要になってくると考えられる。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

・活動スペースについて、「見学をしたことがないから分からない」、とうご意見もあったが、7割の方から必要なスペースは確保されているとの評価をいただいた。感染症も落ち着いたので個別支援計画面談以外にも午前中の教室内見学開催を検討していきたい。

### ○適切な支援の提供

・支援計画の作成や活動プログラムについては、全ての方から、個別支援計画に沿った集団、個別療育を行うことを工夫されていることに対してに高い評価をいただいた。

・障害のない子どもと活動する機会については、「活動を求めている」、「必要ないと思う」といったご意見をいただいた一方で「地域のお店で買い物活動を行うなかで店舗店員との交流の機会があるのはいいこと」とのご意見もいただいた。

### ○保護者への説明等

・保護者同士が繋がる機会がないとのご意見をいただいた。

・長年ご利用いただいている方で、「利用負担についての説明がはっきりしないことがある」というご意見をいただいた。

### ○非常時等の対応

・非常時等の対応については、9割の方から様々な非常時に対する対応を集団療育を通して実施されているという評価をいただいた。

### ○満足度

・「学校よりも大好きな場所です。」「面接の練習は大変助かりました。」「いつもとても良くしていただき感謝しております。スマートキッズの存在がありがたいです。高校卒業しても通える作業所ができるといいなと思います。」とのご意見をいただくなど、多くの方から子どもは通所を楽しみにしており、事業所の支援にも満足しているとの評価をいただいた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組んだ具体策

・感染症が落ち着いたこともあり、面談などで保護者様が教室へ来訪されることも増え、教室の様子を紹介などを行うことができた。しかし、保護者様同士の交流の場としての保護者会開催を実施することはできていない。

・開かれた教室として、関係機関の訪問を受け入れることができた。

・課外活動にて近くの施設を利用することで地域の方とも交流を行うことができた。

### ○改善できた点・まだ残る課題

・感染症が落ち着いてきたので、保護者様との交流、またその企画・運営をする必要がある

・ブログの更新を行い、外部への情報発信が定期的に行なえた。

・定期的に教室内研修を実施し、品質向上をめざす。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・ミーティングにて職員同士が互いの意見を尊重しながら、生徒一人一人の特性や支援方法を話し合うことで、より良い支援、安全で安心した居場所作りを行うことができている。
- ・支援の様子や生徒の状況について、送迎時の引き継ぎや面談等を通して、保護者様と共有し、共通理解を持つことができている。

### ○改善点

- ・オンライン等を活用した保護者様と職員、保護者様同士の交流の場の設定。
- ・緊急時のマニュアル等の周知・説明。
- ・職員研修の定期的な実施と支援のPDCAを継続を行っていく。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・ブログの更新や家庭連携等を通して、保護者様への情報発信・共有を継続実施していく。
- ・オンラインを活用した保護者会を実施する等、保護者様との定期的に交流を図る。
- ・緊急時対応マニュアル等の周知・説明を徹底する。
- ・専門的な研修を実施し、職員の資質向上を図る。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・定期的にブログ作成や家庭連携等を通して、保護者様への情報発信、情報共有を行う。
- ・保護者会開催のスケジュールを立て、実施に向けた行動に移す。
- ・面談やニュースレター、保護者会等を通して、新しい利用者負担額や緊急時対応マニュアル等について周知する。
- ・2か月に1回は職員研修を実施し、職員の資質向上を図る。